

新型コロナウイルス感染症から身を守るために
看護学部の学生への応援メッセージ NO 11

愛知県では7月12日に名古屋市など4市が対象区域だった「まん延防止等重点措置」が解除され、県独自の「厳重警戒宣言」に切り替えられました。看護学部でも愛知医科大学病院を始めとする臨地実習が再開され、看護学部での学修は少しずつ日常に戻りつつあります。しかし、感染力が高い新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大も懸念されている中、感染症対策の手を緩めることはできません。安心して楽しめる日々はもうしばらくの我慢になりそうです。これから学生の皆さんは、実習や定期試験などを経て、夏季休暇を迎えられます。夏季休暇を元気に過ごしていただくために、今後も体調管理と感染対策に留意して過ごしていきましょう。

看護学部長

皆さんへお伝えしたいこと

1. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の注意について

7月の月上旬にワクチン接種を希望された学生さんへの2回目の接種が終了しました。新型コロナウイルス感染症ワクチンは発症を予防する高い効果があり、重症化を予防する効果が期待されています。しかしながら、ワクチン接種後も感染リスクがなくなるわけではありませんので、これまでと同様、体調管理シートへの記入、マスクの着用、密着して大きな声を出さないこと、手指消毒を心掛ける等の行動を継続させてください。夏休みに入ると開放的になり、気持ちが緩みがちになるかもしれませんが、感染対策の基本は継続してください。

2. 県外へ移動した場合の自宅待機期間（2週間ルール）について

これまで、本学では新型コロナウイルス感染症のまん延地域等県外へ移動した場合、体調管理のための2週間の自宅待機期間をおいていました。今後も緊急事態宣言が発出されている地域から移動した場合は、体調管理のための2週間の自宅待機は継続して実施してください。ワクチン接種者の割合が高くなったことも加味して、緊急事態宣言発出以外の地域等県外移動後の自宅待機は解除しますので、各自、体調を観察しながら登校あるいは実習に参加してください。

なお、このルールについては今後の感染状況の変化によって変更の可能性があることをお断りします。

3. 実習中の感染予防対策について

現在、学部のほとんどの看護専門領域で臨地実習が行われています。学生の皆さんは各実習場所における感染予防行動について十分自覚しておられると思いますが、実習時には特に、三密を避ける(特に2m以上のディスタンスを意識すること、マスクの着用、手洗い等を徹底して行ってください。感染予防対策を無視した行動は、自身の健康リスクを高めるだけでなく、患者さんやスタッフ、チームメンバー等、広範囲に影響を及ぼすことを忘れないでください。

4. 緊急食べ物支援プロジェクトについて

看護学部同窓会の先輩たちから、在校生の皆さんをぜひ支援したいという申し出がありました。愛知医科大学看護部「あなたの元気を守りたい！緊急食べ物支援プロジェクト」第三弾は看護学部同窓会の支援を受けて行います。必要な学生さんは活用してください。

- 1) 対象：食べ物支援を希望する学生
- 2) 内容：お米，缶詰，レトルト食品，インスタント麺，乾物，お菓子など詰め合わせの支援
(詰め合わせのため，食品の種類は選べません。概ね1週間分の食料を予定しています。)
- 3) 第3回目の配布は7/26(月)12時からを予定しています。
(登校可能な日程で取りにきてください。)
- 4) 申し込み方法：以下のリンク（またはQRコード）から7/16(金)17時までに申し込んでください。
なお，申し込まれた学生さんは，必ず取りに来ていただくようお願いします。

URL : <https://ws.formzu.net/fgen/S36453994/>



5. 女性用トイレへの生理用品の配備について

長久手市社会福祉協議会から看護学部の学生に役立ててほしいと生理用品の寄付がありました。看護学部では当分の間，女性用トイレに寄付された生理用品を配備いたします。必要な方は自由にお使いください。